



下水道の最新情報をお届けします！

発行日：2012. 7. 23

下水道機構の『新技術情報』 第54号

(財) 下水道新技術推進機構 <http://www.jiwet.or.jp/>



先週は猛暑日の翌日に肌寒くなりましたが、今週はまた暑さが復活とのことで夏バテが気になりますね。今週 27 日(金)は土用の丑の日ですが、みなさん鰻の旬はいつだかご存知ですか？「そりゃあ夏でしょう！」と思いきや、実は冬なのだそうです。夏の土用丑の日に食べる習慣は幕末の学者、平賀源内が夏に売れないという鰻屋に薦めた宣伝方法が大当りをしたのが始まりと言われているそうです。

さて、今週も機構メールマガジン『新技術情報』第54号をお届けします。

業務に、Tea Break にどうぞご活用ください。

■□■□トピックス■□■□■

★インフォメーション

・7月10日(火)に平成24年度第1回汚泥処理技術共同研究委員会(委員長：山梨大学金子教授)が開催されました

・7月12日(木)に「川崎市における平成24年度下水道事業の展開」をテーマに技術サロンを開催しました！

★機構の動き

・今週は、24日(火)～27日(金)に下水道展神戸'12への出展、また27日(金)に下水道展併催行事：技術マニュアル講習会が開催されます

★Tea Break

・【酒と水】ウイスキーがお好きでしょ(ペンネーム 小夏さんからの投稿です)

★【新コーナー♪】まる子のゆいまーる

・今週は、7月から機構の一員になりました、研究第二部の総括主任研究員の大西さんからのメッセージをお届けします

★国からの情報

・7月20日付け下水道ホットインフォメーション

インフォメーション (最新の話題です)

●7月10日(火)に平成24年度第1回汚泥処理技術共同研究委員会(委員長：山梨大学金子教授)が開催されました。

議題は

- (1) 「鋼板製消化タンクに関する共同研究」
- (2) 「トータルエネルギーシステムとしての汚泥減量化技術に関する共同研究」
- (3) 「回転ドラム型濃縮機に関する共同研究」の3議題です。

(1) に関して、実証実験の中間報告として攪拌機性能、消化性能、塗装耐食性試験状況の報告を行い、開発目標との整合性、今後の課題について議論しました。

(2) に関して、エネルギー回収技術(メタン発酵) + 汚泥減量化技術を組み合わせた技術(汚泥可溶化装置)について、ケーススタディの結果報告を行い、費用対効果やエネルギー削減効果について議論しました。

(3) に関して、新規案件であり、対象機器の概要、研究の目的・内容について説明を行い、今後の実証実験の方向性について議論しました。

本議事内容は8月の技術委員会で報告される予定です。

●7月12日(木)に「川崎市における平成24年度下水道事業の展開」をテーマに技術サロンを開催しました！

今年度に入って東京都、横浜市と、首都圏の大都市の取り組みをサロンで取り上げてきましたが、今回のテーマは川崎市の取り組みについてです。ゲストは川崎市上下水道局下水道部下水道計画課長の松川一貴様でした。

講演では、川崎市の計画体系と下水道事業中期経営計画の内容、人口の増加と有収水量の伸びの乖離等が生じている中で全体計画の見直しが進められたこと、平成24年度予算の概要と地震や浸水対策に重点的に取り組むこと、平成25年度に向けて新たな総合計画・中期経営計画の策定に向けた準備を始めること等が紹介されました。また、国際展開の実施方針とホットな情報として「かわさき水ビジネスネットワーク」の会員募集が7月20日までの期限で開始されたことが紹介されました。川崎市の下水道事業の今が分かるひと時でした。

さて、サロンは、8月はお休みです。次回は9月13日木曜日の17:00から。ゲスト及びテーマは約1月前に当機構ホームページにてお知らせします。

今週は下水道展です。当機構の取り組みをブース(2号館1F 小間番号 P-7)でご紹介いたします。また、今回、下水道展の併催行事として、神戸で技術マニュアル活用講習会を開催します。当日参加も可能ですので、多くの方々のご参加をお待ちしております。

※6月の技術サロンの資料(ゲスト;横浜市環境創造局下水道施設部の折居下水道施設整備課長様と小原下水道設備課長様)を専用サイト登録者のページに掲載しました。登録者は、これまでのサロンの資料がご覧いただけます

公共団体等の方はこちら→ <https://www.jiwet.jp/members/gov/>

出捐団体等の方はこちら→ <https://www.jiwet.jp/members/support/>

機構の動き (機構の行事予定です)

●7月27日(金) 13時20分~16時40分

技術マニュアル活用講習会【神戸会場】

場所: 神戸国際展示場2号館2階2B会議室(下水道展の併催行事)

内容: 平成23年度作成の技術マニュアル・技術資料(全5件)の説明

※技術マニュアル講習会【神戸会場】のお申し込みはこちら

→ <http://www.jiwet.jp/school/school-05-07.htm>

●7月24日(火)~27日(金)

下水道展への出展及び研究発表会での成果発表

場所: 神戸国際展示場2号館(P-7)等

●8月3日(金) 15:30~17:00 場所：機構8階特別会議室

第1回 技術委員会

●8月7日(火) 15:00~17:00 場所：機構8階特別会議室

第1回津波シミュレーションモデル利活用検討委員会

Tea Break (機構職員の感じるまま)

●【酒と水】ウイスキーがお好きでしょ (ペンネーム 小夏さんからの投稿です)

ビールがおいしい季節になってきましたので、大スキなお酒に合う水の話をしてします。

焼酎は軟水、ウイスキー、スコッチウイスキーには硬度が少し高いミネラルウォーターがよく合います。スコッチウイスキーがとてもおいしいです。お薦めです、ぜひ試してみてください。

軟水と硬水の違いは、その水に含まれるカルシウムとマグネシウムの合計量の違いです。日本酒ですが、日本はほとんどが軟水ですので、柔らかくなめらかで軟水であればあるほどあっさりしています。一部、硬水地域の日本酒はしっかりとしたコクがあります。水を意識して飲めば、もっとおいしくお酒が飲めるかもしれません。

ミネラルを多く含んだ硬水はダイエットに向いているそうです。基礎代謝がUPし、痩せやすい体質になるようです。また汗や尿として体内の老廃物を排出します。腸内(胃・腸)を刺激し、便通がよくなるからだそうです。軟水と比べると空腹感を抑えられると言われています。スポーツ後のミネラル補給に硬水を飲まれる方もいるようです。むくみに悩んでいる人はとにかく水分をとった方が良さそうです。飲み方のポイントは空腹時。胃の中にモノが入っている状態で水分を取るとますますむくんでしまうそうです。さて、硬水の味ですが、私はあまりおいしくないと思います。痩せて、むくまないのであれば、致し方ないのですが・・・。

ロンドンオリンピックを見ながら、イギリスのスコッチウイスキー硬水割りをたくさん飲んで応援しようと思います。がんばれっ！ニッポンっ！

まる子のゆいまーる (皆様との交流の場です♪)

●今週は、7月から機構の一員になりました、研究第二部総括主任研究員の大西 学さんからのメッセージをお届けします

=====

(財) 下水道新技術推進機構研究二部に新たに配属されました大西です。これまで(株)東京設計事務所に勤務しており、雨水対策検討や合流改善対策検討など下水道計画全般の業務に20年間ほど関わってきました。

下水道新技術推進機構では、これまでに経験したことのない最先端の技術に関する業務を行うものですが、これまでの経験も必ず役に立ち、社会に貢献できる仕事ができると思っています。

ここでは先端技術を理解するだけでなく、それらを使いこなして新たな新技術を生み出していかなければならないので、大きな不安を抱えてはおりますが、これらに関われることを大変誇りに感じています。

これからの下水道業界は、視野を広く持たないといけないと感じており、今まで情報処理技術

【リン資源リサイクル推進協議会】

★図書のご案内☆

■『水に流せない水の話』著者：グローバルウォータージャパン吉村和就氏

【下水道企画課】

=====

○下水道は打ち水大作戦を応援します！！【下水道企画課】

全国の大都市では、下水を高度処理した下水処理水や一時的に貯留した雨水を活用して、さまざまな形で「打ち水大作戦」を応援します。さらに、各都市の下水道においては、このほかにも「打ち水大作戦」を応援する独自の取り組みも行われます。これらの取り組みは、水の循環を通じて快適で潤いのある都市活動を支え、地球環境の保全に資するものです。

応援内容、実施期間等詳細は、「打ち水大作戦本部」にて順次発表されます。

<http://uchimizu.jp/2012/>

<取り組みの内容>

- ・下水再生水を「打ち水」用水として市民等に無料で提供します。
→ 札幌市、東京都、川崎市、名古屋市、京都市、福岡市、熊本市
- ・下水再生水を活用した「打ち水イベント」を実施します。
→ 札幌市、東京都、川崎市、静岡市、浜松市、名古屋市、京都市、大阪市、堺市、神戸市、福岡市
- ・雨水貯留浸透施設に貯留した雨水を利用して「打ち水イベント」を実施します。
→ 広島市、北九州市

http://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sewerage/mizukokudo_sewerage_tk_000210.html

○日本－マレーシア下水道分野における政府間協議、ワークショップの開催について

【下水道企画課】

国土交通省及びマレーシア国エネルギー・環境技術・水省は、7月19日（木）にマレーシア国プトラジャヤにおいて「日本－マレーシア下水道分野における政府間協議」および、それに併せて「日本－マレーシア下水道ワークショップ」を開催しました。結果については、後日、お知らせします。

<http://www.mlit.go.jp/common/000217370.pdf>

●第7回リン資源リサイクルシンポジウムの開催について

【リン資源リサイクル推進協議会】

リン資源リサイクル推進協議会では、リン資源リサイクル推進に向けた情報の共有や回収と利用のマッチング等を目的としたシンポジウムを定期的に開催しており、この度、下水道展2012期間中の7/25(水)に、第7回リン資源リサイクルシンポジウムを開催しますので、ご参加ください。当日受付もいたしますが、事前申込みを頂ければと思います。

なお、誠に申し訳ございませんが、意見交換・交流会は会場の都合もあり定員に達しましたのでご了承願います。

意見交換・交流につきましては、シンポジウムの休憩時間を長めに取っております

ので、こちらの時間等をご活用頂ければと思います。

<協議会ホームページ>

<http://www.jora.jp/rinji/rinsigen/index.html>

<開催案内>

http://www.jora.jp/rinji/rinsigen/pdf/7thSymposium_general.pdf

<参加申込書>

http://www.jora.jp/rinji/rinsigen/pdf/7thSymposium_form_general.doc

★図書のご案内☆

■『水に流せない水の話』 著者：グローバルウォータージャパン吉村和就

【下水道企画課】

7月25日、角川書店から全国発売です。

水にまつわる話題、「携帯もPCも水で支えられている」、「秋田にはなぜ美人が多いのか」、「俳聖・松尾芭蕉と水道工事」など60テーマを満載。下水道関連では「下水からお宝ザクザク」、「人類を支えてきたトイレと水の関係」など、ぜひご覧ください。

http://www.kadokawa.co.jp/bunko/bk_detail.php?pcd=201112000543

■丹保憲仁先生著『都市・地域 水代謝システムの歴史と技術』（鹿島出版会）

の発刊について【下水道企画課】

（7月5日号掲載）

<http://www.kajima-publishing.co.jp/>

■「下水道事業の手引 平成24年版」が完成しました【下水道事業課】

（6月28日号掲載）

http://www.suido-gesuido.co.jp/blog/info/2012/06/post_43.html

■書籍『水ビジネスを制するための標準化戦略』を発行しました【日本規格協会】

（6月21日号掲載）

http://www.webstore.jsa.or.jp/lib/lib.asp?fn=/standard/std12_06.htm

=====

【参考情報】

◆上下水道の業者らが新組織、維持管理事業協同組合を創立 <7/13 北海民友新聞>

http://www.minyu.ne.jp/digitalnews/120713_1.htm

◆汚泥を肥料に 下水処理場の厄介者 <7/14 北國新聞>

<http://www.hokkoku.co.jp/subpage/H20120714104.htm>

◆雨水貯留管の模型くぐる 富山でみずフェスタ <7/16 富山新聞>

<http://www.toyama.hokkoku.co.jp/subpage/TT20120716711.htm>

◆身近な池や川きれいに／EM泥だんごで水質浄化 <7/17 四国新聞>

http://www.shikoku-np.co.jp/kagawa_news/locality/20120716000272

◆計画停電に備え下水電源切り替え訓練 <7/18 愛媛新聞>

<http://www.ehime-np.co.jp/news/local/20120718/news20120718080.html>

◆大雨でまた浸水「我慢限界」 <7/18 中国新聞>

<http://www.chugoku-np.co.jp/News/Tn201207180028.html>

◆諏訪湖周辺 窒素、リン「横ばいか低め」 <7/18 長野日報>

<http://www.nagano-np.co.jp/modules/news/article.php?storyid=25608>

◆豪雨 民家の全半壊54棟 大分 <7/19 読売新聞>

<http://www.yomiuri.co.jp/e-japan/oita/news/20120718-OYT8T01518.htm>

◆道路陥没に注意を 日田、地盤の緩みが進行 <7/19 大分合同新聞>

http://www.oita-press.co.jp/localNews/2012_134266154535.html

～ 以上、国からの下水道ホットインフォメーションより～



発行元：財団法人 下水道新技術推進機構 企画部

〒162-0811 東京都新宿区水道町3番1号 水道町ビル 7F

TEL 03-5228-6511(代表) FAX 03-5228-6512

ホームページ：<http://www.jiwet.or.jp/>

○お伝えしたい情報をお持ちの方はこちらから→ jiwet@jiwet.or.jp

○メルマガ配信登録についてのお問い合わせはこちらから→ jiwet@jiwet.or.jp

○ニューズレターはこちらから → <http://www.jiwet.jp/newsletter/20120229/>

○コラムの正解はこちらから

→ <http://www.jiwet.jp/newsletter/20120229/seikai2.pdf>

